

2026(令和8)年度

徳島大学大学院創成科学研究科
生物資源学専攻
博士前期課程

学 生 募 集 要 項

(一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試)

徳 島 大 学

趣旨・目的・指針

趣旨

徳島大学は、産官学連携により地方創生を推進することを大学の目標としていますが、地域の生物資源を生かした地方創生を実現化するためには、生物資源学に関する高度な知識と先端的技术に加えて、内閣府の政策である超スマート社会（Society 5.0）への転換が必要とされています。すなわち ICT や AI による新たな価値の創造に貢献できる人材の育成が必要です。

目的

生物資源の持続可能な開発は、人類にとって最も重要な課題の一つであり、地域社会のみならず国際社会においても総合的な取組が必要な分野です。また、1 次産業の成長産業化や 6 次産業化は、地域創生のための国の重要政策になっています。生物資源学専攻は、地域創生の原動力となる国際競争力の高い生物資源の開発に貢献できる人材育成を目的としています。

指針

生物資源のヘルスサイエンスへの応用・製品化等による新しいバイオ産業の創生や、新しい機能食品や食品製造システム等の開発等による新しい食品産業の創生、並びに農工連携による生物生産システムの構築や新しい育種・品種改良技術による一次産業の成長産業化等を目指す教育を進めていきます。

2026(令和8)年度徳島大学大学院創成科学研究科生物資源学専攻 博士前期課程

学 生 募 集 要 項

I. アドミッション・ポリシー

(1) 全学アドミッション・ポリシー

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、卓越した学術および文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

○博士前期課程及び修士課程

- ・ 専門的知識と論理的思考を備え、明確な問題意識をもって研究を進める能力に加え、専門的な職業に従事できる高度な能力を修得しようとする人
- ・ 多様な情報を的確に把握し、自らの自由な発想でその真偽と活用を判断し、高い倫理観・責任感を身につけ、自立して行動しようとする人
- ・ 世界水準を目指す研究成果の発信により、地域を発展させる産業創出又は医療の深化・発展のために貢献しようとする人

(2) 創成科学研究科のアドミッション・ポリシー

創成科学研究科博士前期課程では、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、中長期的な産業界・社会のニーズを踏まえ、グローバルかつ複合的な視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

○求める人物像

1. 専門的知識と論理的思考を備え、明確な問題意識をもって研究を進める能力に加え、専門的な職業に従事できる高度な能力を修得しようとする人
2. 多様な情報を的確に把握し、自らの自由な発想でその真偽と活用を判断し、高い倫理観・責任感を身につけ、自立して行動しようとする人
3. 世界水準を目指す研究成果の発信により、地域を発展させる新たな価値の創成のために貢献しようとする人

(3) 生物資源学専攻のアドミッション・ポリシー

生物資源学専攻では、生物工学的アプローチによる生物資源のヘルスサイエンスへの応用・製品化によって新規バイオ産業の創成に貢献できる人材、栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見や新しい食品加工技術によって新規食品産業の創成に貢献できる人材、及び農工連携による生物資源の生産管理システム、革新的な育種・品種改良、

資源の高機能化による1次産業の発展に貢献できる人材の育成を目指し、次のような資質や能力を持った学生を求めています。

1. 知識・技能・関心・意欲

生物の機能に強い関心を持ち、生物資源の生産、医薬・食品・エネルギーへの応用等の分野で深い知識と技術を修得し、高度専門職業人として、地域や国際社会において活躍することを目指す意欲的な人

2. 思考力・判断力・表現力等の能力

生物資源に関する諸課題を理解し、深い専門知識により高度な解決策を提案できる思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を有する人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

地域生物資源の6次産業化や1次産業の持続可能な成長産業化について、多様な領域の人々と協働しながら、主体的に取り組むことに意欲的な人

(4) 各コースのアドミッション・ポリシー

(ア) 応用生命科学コースのアドミッション・ポリシー

応用生命科学コースでは、バイオサイエンス分野において広範な専門基礎学力と地域生物資源を高度に活用できる専門的応用能力を有し、地域からバイオ産業を育成して国際社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、次のような資質、能力、意欲を有する人を求めています。

1. 知識・技能・関心・意欲

バイオサイエンスの基本原理の学修や高度な実験手法の修得に必要な学力を備え、他の専門分野の知識と技術も活用できる柔軟な思考力を有すると共に、強い関心を持って意欲的に勉学に励むことができる人

2. 思考力・判断力・表現力等の能力

新しいバイオ産業の創成に寄与するため、課題を深く掘り下げる思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を有する人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

他者と協力して問題解決に取り組む協働性と、主体性を持って課題を深く掘り下げる探究力を有する人

(イ) 食料生物科学コースのアドミッション・ポリシー

食料生物科学コースでは、フードサイエンス分野において広範な専門基礎学力と地域生物資源を高度に活用できる専門的応用能力を有し、地域から新しい食品産業を育成して国際社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、次のような資質、能力、意欲を有する人を求めています。

1. 知識・技能・関心・意欲

フードサイエンスの基本原理の学修や高度な実験手法の修得に必要な学力を備え、他の専門分野の知識と技術に強い関心を持つと共に、それらを活用する意欲のある人

2. 思考力・判断力・表現力等の能力

新しい食品産業の創成に寄与するため、課題を深く掘り下げる思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を有する人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

他者と協力して問題解決に取り組む協働性と、主体性を持って課題を深く掘り下げる探究力を有する人

(ウ) 生物生産科学コースのアドミッション・ポリシー

生物生産科学コースでは、アグリサイエンス分野において広範な専門基礎学力と地域生物資源を高度に活用できる専門的応用能力を有し、地域から1次産業のスマート化を推進して国際社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、次のような資質、能力、意欲を有する人を求めています。

1. 知識・技能・関心・意欲

アグリサイエンスの基本原理の学修や高度な実験手法の修得に必要な学力を備え、他の専門分野の知識と技術に強い関心を持つと共に、それらを活用する意欲のある人

2. 思考力・判断力・表現力等の能力

1次産業の成長産業化に寄与するために、課題を深く掘り下げる思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を有する人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

他者と協力して問題解決に取り組む協働性と、主体性を持って課題を深く掘り下げる探究力を有する人

(5) 入学者選抜の基本方針

- ・書類審査では、主として本専攻の専門分野に関する知識及び外国語能力を評価します。
- ・面接・口頭試問では、主として各コース専門分野の知識・技能に加え、意欲・思考力・判断力・表現力・主体性・協働性を総合的に評価します。

Ⅱ. 募集人員

コ ー ス 名	募 集 人 数	
	1 次入試	2 次入試
応 用 生 命 科 学 コ ー ス	7 人	若干名
食 料 生 物 科 学 コ ー ス	7 人	若干名
生 物 生 産 科 学 コ ー ス	6 人	若干名

*募集人数・各コースの人数はおおよその目安であり、変更することがあります。

*上記には、外国人留学生特別入試及び社会人特別入試の定員も含まれます。

*推薦入試及び1次入試で定員を満たした場合は、2次入試を行わない場合があります。

Ⅲ. 出願資格

出願資格

【一般入試】

出願することができる者は、次のいずれかに該当する者としてします。

※日本国籍を有しない者は、「XIV. 安全保障輸出管理」の（注意）の提出物を期限までに提出してください。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び2026年3月31日までに卒業見込みの者（注1）
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（前身の組織を含む）により学士の学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者（注2）
- (4) 文部科学大臣が指定する外国大学日本校（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について当該外国政府又は関係機関により評価を受けているものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者（注2）
- (6) 文部科学大臣の指定した者又は文部科学大臣が指定した教育施設等を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者（注3）
- (7) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本専攻が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（注4）
- (8) 日本の大学を学校教育法第89条の規定により、2026年3月31日までに卒業見込みの者（注1）（注4）
- (9) 個別の入学資格審査をもって、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本専攻が認めた者で、2026年3月31日において22歳に達している者（注1）（注4）

（注1）上記(1)、(8)、(9)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

出願資格(8)に該当する者は、出願資格(1)での出願を認めない。

(注2) 上記(3)、(5)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

(注3) ①上記(6)に該当する者とは、次の学校又は教育施設の卒業者（修了者）等を示す。

- ・文部科学大臣の指定する専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）
- ・昭和28年文部省告示第5号の各号に指定する学校等（旧大学令による大学、各省庁設置法・組織令又は独立行政法人個別法による大学校ほか（各号に指定する要件を満たすこと。））

②出願資格(6)により出願しようとする者は、1次入試は2025年6月13日までに、2次入試は2025年9月12日までに生物資源産業学部事務課学務係に問い合わせること。

(注4) ①出願資格(9)に該当する者とは、4年制以上の大学に相当する教育施設の卒業者（修了者）等で、個別の入学資格審査により、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本専攻において認めた者である。

②出願資格(8)に該当する者は、大学を修業年限より短い期間で卒業見込みの者である。

③出願資格(7)～(9)で出願しようとする者は、出願前に個別の資格審査を行うので、後述の資格審査についての記述を熟読の上、期日までに生物資源産業学部学務係に申し出ること。

【外国人留学生特別入試】

上記(1)～(9)のいずれかに該当し、日本国籍を有しない者。

※「XIV. 安全保障輸出管理」の（注意）の提出物を期限までに提出してください。

【社会人特別入試】

上記(1)～(6)(9)のいずれかに該当し、入学までに官公庁、企業、非営利団体等に正規職員として2年間以上の実務経験を有すること。これにあわない場合は個別に認定する。

※日本国籍を有しない者は、「XIV. 安全保障輸出管理」の（注意）の提出物を期限までに提出してください。

IV. 出願手続

(1) 提出書類等

【共通】：一般入試、外国人留学生特別入試、社会人特別入試について共通

【共通】 入学願書	所定の用紙に必要事項を記入し、写真（最近撮影した正面、脱帽、上半身縦4cm、横3cmのもの）を貼ってください。
【共通】 受験票・写真票	所定の用紙に必要事項を記入し、写真票に上記入学願書と同一の写真（最近撮影した正面、脱帽、上半身縦4cm、横3cmのもの）を貼ってください。
【共通】 志望理由書及び研究計画書	所定の用紙に必要事項を自筆で記入してください。 ※受入教員欄は直筆による署名が必要です。
【一般、留学生】 プレゼンテーションデータ	これまでの研究内容と大学院での研究計画について作成したパワーポイントのデータ及びそのPDFデータを生物資源産業学部在学学生は機械棟7階技術職員室に提出してください。 生物資源産業学部在学学生以外の方は、メールアドレス（bb.stu.section@tokushima-u.ac.jp）までデータを送付してください。 遅くとも試験日の休日を除く3日前には提出してください。

【共通】 成績証明書	出身大学（学部）長が作成した成績証明書
【共通】 卒業（見込み）証明書※	出身大学（学部）長が作成した卒業（見込み）証明書 ※本年度生物資源産業学部卒業見込者は不要
【社会人】 推薦書	所定の用紙に本人の勤務する職場の所属長が作成したもの
【一般、留学生】 TOEIC「公式認定証」 又は TOEFL「受験者用 控えスコアレポート」も しくは TOEFL「公式ス コアレポート」	TOEIC は“Digital Official Score Certificate”（デジタル公式認定証）（※印刷したものでデータは不可）又は“Official Score Certificate”（公式認定証）、団体特別受験制度（IP：Institutional Program）の“Score Report”（スコアレポート）の原本、TOEFL は“Test Taker Score Report（又は Examinee Score Report）”（受験者用控えスコアレポート）又は“Official Score Reports”（公式スコアレポート）の原本とします。 ただし、以下の点にご留意ください。 ・2022 年 4 月以降に受験したものを有効とします。 ・出願書類として受理する TOEIC の公式認定証又はスコアレポートは「TOEIC [®] Listening & Reading Test」又は「TOEIC [®] テスト」に限ります。「TOEIC [®] Speaking & Writing Tests」、「TOEIC [®] Speaking Test」、「TOEIC [®] Writing Test」、「TOEIC Bridge [®] Test」は受け付けません。 ・団体特別受験制度（IP テスト）は原本での提出のみとし、本学にて受験したものに限りします。 ・TOEFL は自宅受験 TOEFL iBT [®] テスト（TOEFL iBT [®] Home Edition）のスコアレポートも出願書類として認めます。
【社会人】 TOEIC「公式認定証」 又は「デジタル公式認定 証」	TOEIC は“Official Score Certificate”（公式認定証又はデジタル公式認定証）のコピーを提出してください。有効期限はありませんが、最新の情報を提出してください。
【共通】 学位授与証明書等	出願資格(2)に該当する者は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学士の学位授与証明書（前身の組織が発行した当該証明書を含む）を添付してください。 出願資格(3)～(4)に該当する者は、学位記の写し等を提出してください ※出願資格(3)～(4)に該当する者で、学士の学位がない場合は入学試験出願資格審査が必要です。
【留学生】 履歴書	出願資格(3)～(4)に該当する者は、所定の用紙に必要事項を記入してください。
【留学生】 外国人登録原票記載事項 証明書又は旅券の写し	外国人留学生として志願する者は提出してください。
【共通】 検定料払込証明書	検定料 30,000 円 検定料を郵便振込した後、受領した「検定料払込証明書（出願用）」を「検定料払込証明書」（本学所定の様式）に貼って提出してください。なお、海外在住の志願者については、クレジットカード（VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS 等）又は中国銀聯カードによる払い込みが可能です。海外からの出願方法等については「Ⅷ 徳島大学留学生情報」を参照ください。

【共通】 あて名票 3 枚	合格通知送付用封筒に貼るので、確実に受け取れる住所、氏名、郵便番号、電話番号を記入してください。
【共通】 受験票送付用封筒	所定の封筒に 410 円分の切手を貼り、自己の住所、氏名、郵便番号を明記したもの。

(注 1) 中国の高等教育機関を卒業した者は、学歴証明をオンラインで確認しますので、中国高等教育学生情報網 (<http://www.chsi.com.cn>) で照会番号を取得し、履歴書に記載してください。

(注 2) 出願書類のうち、日本語以外で書かれた証明書には、日本語訳を添付してください。

(注 3) 志願者は、必ず出願前に、志望する受入教員と研究内容等について相談をしておいてください。

(注 4) 受入教員を選択する場合の各教員の研究指導内容については、17 ページ以後を参照してください。

(注 5) 国費留学生は検定料不要です。

(注 6) 1 次入試を受けられた方で 2 次入試も受けられる方は、願書等は別途送付いたしますので、生物資源産業学部事務課学務係へご連絡ください。(電話番号 088 - 656 - 8021)

(注 7) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の前身の組織は、独立行政法人大学評価・学位授与機構 外です。

(2) 出願期間

1 次入試 2025 年 7 月 15 日 (火)～2025 年 7 月 22 日 (火) (必着)

2 次入試 2025 年 11 月 4 日 (火)～2025 年 11 月 6 日 (木) (必着)

(3) 出願書類等の提出先

〒 770 - 8513 徳島市南常三島町 2 丁目 1 番地 徳島大学生物資源産業学部事務課学務係

(4) 出願方法

- ① 入学志願者は、出願書類等を取りそろえ、出願期間内に持参又は郵送により出願してください。
- ② 郵送の場合は、「書留」とし、封筒には「大学院入学願書在中」と朱書きしてください。
- ③ 持参の場合の受付時間は、9 時～12 時、13 時～17 時です。
- ④ 出願期間を過ぎたもの及び出願書類に不足のある場合は受理しません。

(5) 受験票の送付

出願書類を受理したときは、本専攻受験票を 1 次入試は 2025 年 8 月 7 日 (木) までに、2 次入試は 2025 年 11 月 17 日 (月) までに着くように送付します。期限までにこれらの書類が到着しない場合は、必ず電話照会してください。

(電話番号 088 - 656 - 8021)

V. 入学者の選抜

入学者の選抜は、英語（TOEIC 又は TOEFL の成績）、学力試験、面接及び書類審査の結果等によって総合的に判断して行います。

(1) 試験科目

入試種別	コース	英語	専門科目	口頭試問・面接
一 外国人留学生特別入試	応用生命科学コース	TOEIC 又は TOEFL の成績	(口頭試問) 生体高分子とその関連物質分野に関する基礎知識	口頭試問・面接 (プレゼンあり)
	食料生物科学コース	TOEIC 又は TOEFL の成績	—	口頭試問・面接 (プレゼンあり)
	生物生産科学コース	TOEIC 又は TOEFL の成績	—	口頭試問・面接 (プレゼンあり)
社 特別入試 会 人試	コ ー ス 共 通	TOEIC の成績	—	口頭試問・面接 (プレゼンなし)

(2) 試験日程

試験日 入試種別・コース		1 次入試	2025 年 8 月 29 日(金)
		2 次入試 ※ 1 次入試で定員を満たした場合は 行わない場合もあります。	2025 年 12 月 3 日(水)
一 外国人留学生特別入試	応用生命科学コース	専門科目 (口頭試問)	10:00 ~ 試験室集合時間 9:30
		口頭試問 (プレゼン)・面接	13:30 ~ 試験室集合時間 13:00
	食料生物科学コース	口頭試問 (プレゼン)・面接	13:30 ~ 試験室集合時間 13:00
	生物生産科学コース	口頭試問 (プレゼン)・面接	13:30 ~ 試験室集合時間 13:00
社 特別入試 会 人試	コ ー ス 共 通	口頭試問・面接	13:30 ~ 試験室集合時間 13:00

(3) 試験科目の注意点等

【一般入試・外国人留学生特別入試】

- ・（応用生命科学コースのみ）専門科目の口頭試問は、1人あたり約10分程度となります。
- ・英語（TOEIC 又は TOEFL の成績）あるいは学力試験（専門科目）が一定水準以下の場合には不合格となる場合があります。
- ・口頭試問（プレゼン）・面接では、これまでの研究内容と大学院での研究計画についてパワーポイントで資料を作成し、プレゼンテーションを行っていただき、その後の質疑応答に対応いただきます。発表用原稿の利用及びパワーポイントの発表者ツールや非表示スライドの使用は禁止です。プレゼンテーションの時間は、応用生命科学コース及び食料生物科学コースは5分、生物生産科学コースは10分となりますので、遵守するようにしてください。
- ・外国人留学生特別入試においては、オンライン受験が可能な場合があります。詳細は研究指導を希望する教員と相談してください。

【社会人特別入試】

- ・面接と口頭試問により試験を行います。プレゼンテーションは行いません。
- ・口頭試問は、各受験生が提出した志望理由書及び研究計画書から出題します。
- ・英語（TOEIC の成績）が一定水準以下の場合には不合格となる場合があります。

(4) 一般入試・外国人留学生特別入試における配点及び合否判定基準

コース	配 点				
	英 語 (TOEIC又は TOEFLの成績)	専門科目 (口頭試問)	口頭試問 (プレゼン)	面 接	総得点
応用生命科学コース	200	100	100	100	500
食料生物科学コース	200	－	200	200	600
生物生産科学コース	200	－	200	200	600

コース	合否判定基準
応用生命科学コース	総得点が基準点（6割）を満たした場合に、上位から合格とします。同点の場合は、同順位とします。ただし、英語（TOEIC 又は TOEFL の成績）が一定水準以下の場合には不合格となる場合があります。
食料生物科学コース	総得点が基準点（6割）を満たした場合に、上位から合格とします。同点の場合は、同順位とします。ただし、英語（TOEIC 又は TOEFL の成績）が一定水準以下の場合には不合格となる場合があります。
生物生産科学コース	総得点が基準点（6割）を満たした場合に、上位から合格とします。同点の場合は、同順位とします。ただし、英語（TOEIC 又は TOEFL の成績）が一定水準以下の場合には不合格となる場合があります。

(5) 社会人特別入試における配点及び合否判定基準

配 点			合否判定基準
口頭試問	面 接	総得点	総得点が基準点（6割）を満たした場合に、志望コースごとに上位から合格とします。同点の場合は、同順位とします。ただし、英語（TOEICの成績）が一定水準以下の場合は不合格となる場合があります。
400	200	600	

(6) 志望コース受入教員の選択

入学願書、受験票、写真票、志望理由書及び研究計画書に、入学後志望するコース、受入教員を記入してください。ただし、当該の受入教員に多数の志望者が集中した場合、必ずしも、当該の受入教員の指導を受けられないことがあります。

Ⅵ. 合格者の発表

1次入試 2025年9月12日(金)16時

2次入試 2025年12月12日(金)16時

合格者には、本人あて文書により通知します。なお、電話等による合否についての照会には応じません。

(注) 合格者情報は、学部ホームページ <https://www.bb.tokushima-u.ac.jp/> に1週間程度掲載します。

ホームページに掲載する合格者情報は、情報提供サービスの一環として行うものであり、合格通知書を公式のものとしします。

Ⅶ. 入学手続き

入学手続きについては合格者に別途通知します。

なお、入学後に職業を有する方は、入学手続き時に勤務先の所属長の承諾書を提出してください。(様式任意)

授業料等学生納付金

(1) 入 学 料 282,000 円

(2) 授 業 料 前期分 267,900 円
年 額 535,800 円

(3) その他の経費 8,000 円～ 54,000 円程度

(注1) 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(注2) 上記については現行の金額であり、改定されれば改定金額が適用されます。

(注3) 入学料、授業料ともに、経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業が優秀と認められる者又は風水害等の特別な事情がある者は、選考の上、全額又は半額の免除が認められる制度があります。

(注4) その他の経費には後援会費、学生教育研究災害傷害保険料等が含まれます。本学の出身者かどうかで金額が異なります。

(注5) 入学手続きに必要な書類等は、入学手続き期間前に郵送で通知します。(2月中旬予定)

Ⅷ. 障がいのある入学志願者との事前相談について

受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ相談が必要です。以下の期日までに本学生物資源産業学部事務課学務係へ申し出てください。

(1) 相談の期限

1次入試 2025年6月23日(月)まで

2次入試 2025年9月26日(金)まで

(2) 相談の方法

次の①～⑧を記載した申出書(様式は任意)を提出してください。必要に応じて、志願者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者との面談を行います。

①住所、氏名、連絡先

②出身学校

③志望コース・受験科目

④障がいの種類・程度

⑤受験上特別な配慮を希望する事項

⑥修学上特別な配慮を希望する事項

⑦出身学校でとられていた特別措置の内容

⑧日常生活の状況等

なお、参考のために健康診断書の提出を依頼する場合があります。

Ⅸ. 入学許可の取り消し

(1) 合格者が、入学手続き完了後に大学等を卒業できなかった場合には、入学許可を取り消します。

(2) 出願書類及び入学手続き等に関する書類等について、虚偽のものを提出したこと、又はその他の不正な事実が判明したときは、入学後であっても、入学許可を取り消すことがあります。

X. 欠員補充の方法

入学定員に欠員が生じた場合は、次の方法により欠員補充を実施することがあります。

(1) 追加合格

追加合格を実施する場合は、2026年2月27日(金)以降に入学願書の「連絡先」に直接通知します。(2026年2月27日(金)以降は、入学願書の「連絡先」に必ず連絡が付くようにしてください。)

XI. 個人情報取り扱い

出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については次の目的をもって、本学が管理し、他の目的での利用及び本学の関係職員以外への提供は行いません。

①入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務

②合格者の入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金援助、就職支援等）、授業料等に関する業務

また、入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計、分析及び入学者選抜方法の調査、研究（入試の改善や志願動向の調査、分析等）のために利用します。

XII. 社会人学生の学修と研究及び教育方法の特例について

(1) 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育（夜間開講等）について

通常、官公庁・企業等において勤務している社会人が博士前期課程で学ぶ場合、2年間完全に勤務を離れ、学業に専念することになります。この修学条件を満たすことが難しい社会人学生に対しては、大学院設置基準第14条に「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」ことが規定されているため、この制度を利用して教育方法の特例を実施します。

(2) 長期履修学生制度について

学生が職業を有しているなどの事情により、通常の学生に比べて年間に修得できる単位数が限られるため、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する者に対して、申請に基づき、大学が審査し、その長期にわたる計画的な履修を認め、その在学期間中の授業料の負担を軽減することができる制度です。

例) 3年間の履修計画により申請し、審査で承認された場合、標準修業年限2年間の授業料と同額を、許可された3年間かけて納入することになります。

XIII. 徳島大学留学生情報

徳島大学ホームページに、外国に住んでいて徳島大学へ留学を希望している方のために開設した「徳島大学インターナショナルオフィス」サイトがありますので、お知らせします。

学部・大学院の概要、教員、研究者紹介、入学までの手続き、各種奨学金、留学生宿舍、就職・進路などを説明しています。

このサイトにより、徳島大学を知るための参考としてください。

徳島大学インターナショナルオフィストップページ (<https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/>)

→ 徳島大学へ留学する方へ (<https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/cometotokushima/>)

XIV. 安全保障輸出管理

徳島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「徳島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合があります。願書の提出の前に指導教員予定者と相談をするなど、出願にあたっては注意してください。

詳細については以下の研究支援・産官学連携センターのホームページを参照してください。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/ip/yusyutsukanri/yusyutsu.html>

外国ユーザーリストはこちら

<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/law05.html>

(注意)

日本国籍を有しない者は、1次入試は2025年6月23日(月)までに、2次入試は2025年9月26日(金)までに以下の書類を生物資源産業学部事務課学務係まで提出してください。

上記の期限までに以下書類を提出していない者が、願書受付期間に出願を行い「IV. 出願手続」の提出書類等で提出を求めている書類がすべて揃っている場合でも、書類不備となり受験が認められないことがあります。

- (a) 氏名・生年月日・国籍・連絡先(現住所・メールアドレス・携帯番号)を記載の用紙(A4判で様式は不問)
- (b) 出願資格審査調書
- (c) 卒業(見込み)証明書
- (d) 志望理由書及び研究計画書
- (e) パスポート(写真のページ、入国日のスタンプが押してあるページ)の写し(日本在住の場合)
- (f) 在留カード(両面)の写し(日本在住の場合)

XV. その他

- (1) 入学願書受付後は、提出した書類の変更及び検定料の払い戻しはしません。
- (2) 入学願書を郵便で請求するときは、320円分の切手を貼った自己宛(住所・氏名・郵便番号明記)の返信用封筒(角2封筒 33.2cm×24.0cm)を同封の上、大学院〇〇入試募集要項請求と朱書きして本学生物資源産業学部事務課学務係へ申し込んでください。(〇〇は該当する一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試のいずれかを記載すること)
- (3) 出願手続きその他に関して疑問の点がある場合は、返信用封筒(住所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手を貼ったもの)を同封の上、以下照会先へ文書で照会してください。

なお、受験票受領後提出する書類には、すべて氏名の上に受験番号を明記してください。

照会先 〒770-8513 徳島市南常三島町2丁目1番地

徳島大学生物資源産業学部事務課学務係

- (4) 学部ホームページ(以下URL)もご参照ください。

<https://www.bb.tokushima-u.ac.jp/admissions-information/>

- (5) 郵便料金の改定があった場合は、改定後の郵便料金分の切手を貼ってください。

出願資格(7)により出願する者の資格審査について

大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本専攻において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者

審査は書類審査のため学歴（高等教育機関）、資格等について証明するものを必ず添付してください。（本学で受けた教育についても証明が必要です。）

1. 大学に3年以上在学し、本専攻において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者

提出書類

- ①出願資格審査申請書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ②出願資格審査調書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ③志望理由書及び研究計画書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ④在学証明書
- ⑤在籍大学の学業成績証明書（最新の学業成績が記載された証明書で厳封したもの）
- ⑥在籍大学の大学学部・学科の履修要覧（要項等）
- ⑦在籍大学の受験承諾書
- ⑧返信用封筒（長3封筒 23.5 × 12.0cm）410円分の切手を貼り、郵便番号・住所・氏名を明記すること

2. 外国において学校教育における15年の課程を修了し、本専攻において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者

提出書類

- ①出願資格審査申請書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
 - ②出願資格審査調書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
 - ③志望理由書及び研究計画書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
 - ④最終出身大学の修了証明書
 - ⑤最終出身大学の学業成績証明書
 - ⑥推薦書（最終出身大学の学科主任、指導教員等が記載し、厳封したもの）
 - ⑦返信用封筒（長3封筒 23.5 × 12.0cm）に410円分の切手を貼り、郵便番号・住所・氏名を明記すること
- * 返信先が日本国外の場合、日本から自国までのEMS送料分の切手または国際返信切手券（International Reply Coupon）を同封すること。

3. 提出期間

1次入試 2025年6月19日（木）～2025年6月23日（月）17時まで（必着）

2次入試 2025年9月24日（水）～2025年9月26日（金）17時まで（必着）

（郵送の際は書留郵便とし、封筒表面に「出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。）

4. 提出先 〒770-8513 徳島市南常三島町2丁目1番地
徳島大学生物資源産業学部事務課学務係

2. 出願資格審査結果の通知

1次入試 2025年7月11日（金）までに本人あて通知します。

2次入試 2025年10月21日（火）までに本人あて通知します。

※提出書類に関する注意

1. 日本語以外で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。
2. 中国の高等教育機関を卒業したものは、学歴証明をオンラインで確認しますので中国高等教育学生情報網（<http://www.chsi.com.cn>）で照会番号を取得し、出願資格審査調書に記載してください。

出願資格(8)により出願する者の資格審査について

日本の大学を学校教育法第 89 条の規定により、2026 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
審査は書類審査のため学歴（高等教育機関）、資格等について証明するものを必ず添付してく
ださい。（本学で受けた教育についても証明が必要です。）

1. 提出書類

- ①出願資格審査申請書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ②志望理由書及び研究計画書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ③在学証明書
- ④在籍大学の学業成績証明書（最新の学業成績が記載された証明書で厳封したもの）
- ⑤在籍大学の大学学部・学科の履修要覧（要項等）
- ⑥在籍大学の大学学部・学科における学校教育法第 89 条の規定による卒業の要件を記載し
た資料
- ⑦在籍大学の受験承諾書
- ⑧返信用封筒（長 3 封筒 23.5 × 12.0cm）410 円分の切手を貼り、郵便番号・住所・氏名を明
記すること

2. 提出期間

1 次入試 2025 年 6 月 19 日（木）～2025 年 6 月 23 日（月）17 時まで（必着）

2 次入試 2025 年 9 月 24 日（水）～2025 年 9 月 26 日（金）17 時まで（必着）

（郵送の際は書留郵便とし、封筒表面に「出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。）

3. 提 出 先 〒770-8513 徳島市南常三島町 2 丁目 1 番地
徳島大学生物資源産業学部事務課学務係

4. 出願資格審査結果の通知

1 次入試 2025 年 7 月 11 日（金）までに本人あて通知します。

2 次入試 2025 年 10 月 21 日（火）までに本人あて通知します。

出願資格(9)により出願する者の資格審査について

本専攻において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに22歳に達する者

審査は書類審査のため学歴（高等教育機関）、資格等について証明するものを必ず添付してください。（本学で受けた教育についても証明が必要です。）

1. 提出書類

- ①出願資格審査申請書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ②出願資格審査調書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ③志望理由書及び研究計画書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ④高等教育を受けたことを証明するもの（卒業証明書、在学証明書等）
- ⑤高等教育の全期間の学業成績証明書
- ⑥論文、著書、報告書、学会発表資料（本人が当該学会で発表したことが確認できるプログラム等を添付すること）、研究レポート等（コピー可）、指導教員等の推薦書があれば必ず添付してください。また、関連する専門資格・技能検定の証明書等があれば必ず添付してください。
- ⑦返信用封筒（長3封筒 23.5 × 12.0cm）に410円分の切手を貼り、郵便番号・住所・氏名を明記すること
* 返信先が日本国外の場合、日本から自国までのEMS送料分の切手または国際返信切手券（International Reply Coupon）を同封すること

2. 提出期間

- 1次入試 2025年6月19日(木)～2025年6月23日(月)17時まで(必着)
2次入試 2025年9月24日(水)～2025年9月26日(金)17時まで(必着)

（郵送の際は書留郵便とし、封筒表面に「出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。）

3. 提出先 〒770-8513 徳島市南常三島町2丁目1番地
徳島大学生物資源産業学部事務課学務係

4. 出願資格審査結果の通知

- 1次入試 2025年7月11日(金)までに本人あて通知します。
2次入試 2025年10月21日(火)までに本人あて通知します。

※提出書類に関する注意

1. 日本語以外で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。
2. 中国の高等教育機関を卒業したものは、学歴証明をオンラインで確認しますので中国高等教育学生情報網（<http://www.chsi.com.cn>）で照会番号を取得し、出願資格審査調書に記載してください。

大学院担当教員の指導内容

志願者は、必ず出願前に、志望する受入教員と研究内容等について相談をしておいてください。ただし、当該の受入教員に多数の志望者が集中した場合、必ずしも、当該の受入教員の指導を受けられないことがあります。

【応用生命科学コース】

近年、生命が持つ多様な機能の有効利用技術は、農学、工学、医学等の分野で進められ、その成果は人類が抱えるエネルギー、環境、医療、食糧などの諸問題の解決に大きく貢献すると期待されています。

応用生命科学コースでは、生物工学的手法を用いて、生物資源または成分並びにそれらの化学合成誘導体から新しい機能性物質を探索し、医薬品、化成品、機能性食品等への応用によって新規バイオ産業の育成と経済の発展に寄与できる人材の育成を目指します。高安定性・高機能性の化合物の分子設計において、生物学だけでなく、他分野の手法を活用する方法を学ぶことにより、ヘルスサイエンスに応用可能な新しい化合物の開発に必要な高度な専門知識と技術を修得するための教育研究を行います。

応用生命科学コースの専門科目として、創薬学特論、細胞工学特論、生物化学工学特論、生体熱力学特論、生物物理化学特論、先端生命科学特論、環境生物学特論、再生医学特論、微生物工学特論、ケミカルバイオロジー特論、細胞情報学特論、微生物検査学特論等が開講されています。

令和7年4月1日現在

役職	受入教員	指導内容
教 授	浅 田 元 子	バイオマス変換工学と変換前処理システム効率化に関する研究
教 授	宇 都 義 浩	腫瘍移植鶏卵を利用した制癌剤の創薬研究
教 授	田 端 厚 之	微生物由来機能性因子の研究と微生物検出システムの開発
教 授	松 木 均	両親媒性分子集合系の生物物理化学的研究
教 授	山 本 圭	健康と病態にかかわる脂質ネットワークの研究
准教授	鬼 塚 正 義	バイオ医薬品の生産プラットフォーム開発
准教授	岸 本 幸 治	新規治療戦略に向けたがん幹細胞生存メカニズムの解明
准教授	後 藤 優 樹	高圧力下における脂質ナノ粒子の物性に関する研究
准教授	白 井 昭 博	光反応を利用した微生物制御技術の構築
准教授	玉 井 伸 岳	脂質膜の構造および物性に関する物理化学的研究
准教授	友 安 俊 文	微生物の宿主内や環境中での生存戦略についての研究
准教授	山 田 久 嗣	化学プローブを駆使した生体ケミカルバイオロジー

【食料生物科学コース】

世界では食糧難で十分な栄養が摂れていない人がいる一方で、日本のように過剰栄養を一因とする生活習慣病が蔓延する国もあります。人類が、等しく健康的で快適な食生活を送るためには、安定した食料供給と安全な流通、食と健康に関する正しい理解が必要です。さらに、地球環境に配慮した食の生産・消費システムの構築も急務であり、世界は最新の技術や知識を習得した食品プロフェッショナルを必要としています。

本コースでは、農学、工学、医学、栄養学、薬学的アプローチによる食品の加工・保蔵、機能、安全、栄養、未利用生物資源に関する研究に従事することができます。これらの研究に携わることで、農林畜水産物や未利用生物資源の栄養性、機能性、安全性等を深く理解し、その利点を有効に活用した新しい加工食品、機能性食品等の開発に貢献できる能力を養います。

専門科目として、栄養化学、機能性食品学、生体機能学、分子代謝学、資源利用学、蛋白質機能学、酵素化学、応用微生物学、食安全学、食品評価、食品化学の各特論が開講されています。

令和7年4月1日現在

役職	受入教員	指導内容
教 授	榎 元 廣 文	食品科学研究への質量分析イメージングの応用
教 授	櫻 谷 英 治	微生物変換と発酵を活用した有用物質生産に関する研究
教 授	田 井 章 博	食品および関連材料からの生物活性製品の研究開発
教 授	田 中 保	機能性脂質分子からの創食・創薬研究
准教授	赤 松 徹 也	唾液腺の発生・分化・再生と機能発現に関する研究
准教授	川 上 竜 巳	極限環境微生物由来酵素の機能構造応用研究
准教授	佐々木 千 鶴	未利用天然物資源由来の有用化学物質生産法の開発
准教授	向 井 理 恵	食品機能成分による健康増進効果の研究
講 師	栗飯原 睦 美	食品衛生と食品微生物に関する研究
講 師	阪 本 鷹 行	微生物の分子育種を活用した代謝工学に関する研究
講 師	林 順 司	タンパク質工学的手法による人工酵素の創製

【生物生産科学コース】

21世紀の農業は、植物工場に代表されるように先端技術を利用した生物生産システム、生物が本来有する遺伝子による品種改良、生産生態系における資源管理手法や増殖技術、高付加価値を有する動植物の開発や種苗生産、さらにはフードシステムの基本的理解に基づく市場ニーズ動向を的確に捉えた販売戦略等の先端的・複合的な能力が求められています。そのため本コースでは、先端的作物生産、家畜繁殖、育種工学、植物工場、資源増殖等について製品開発や販売戦略等も含めて教育研究するとともに、安全な生物資源の安定供給に関わる諸問題について多面的観点から解決法を探究し、生産性の高い持続可能な1次産業および農林畜水産物を6次産業化する実践力を滋養するための高度な知識・技術力を強化した教育研究を行っています。

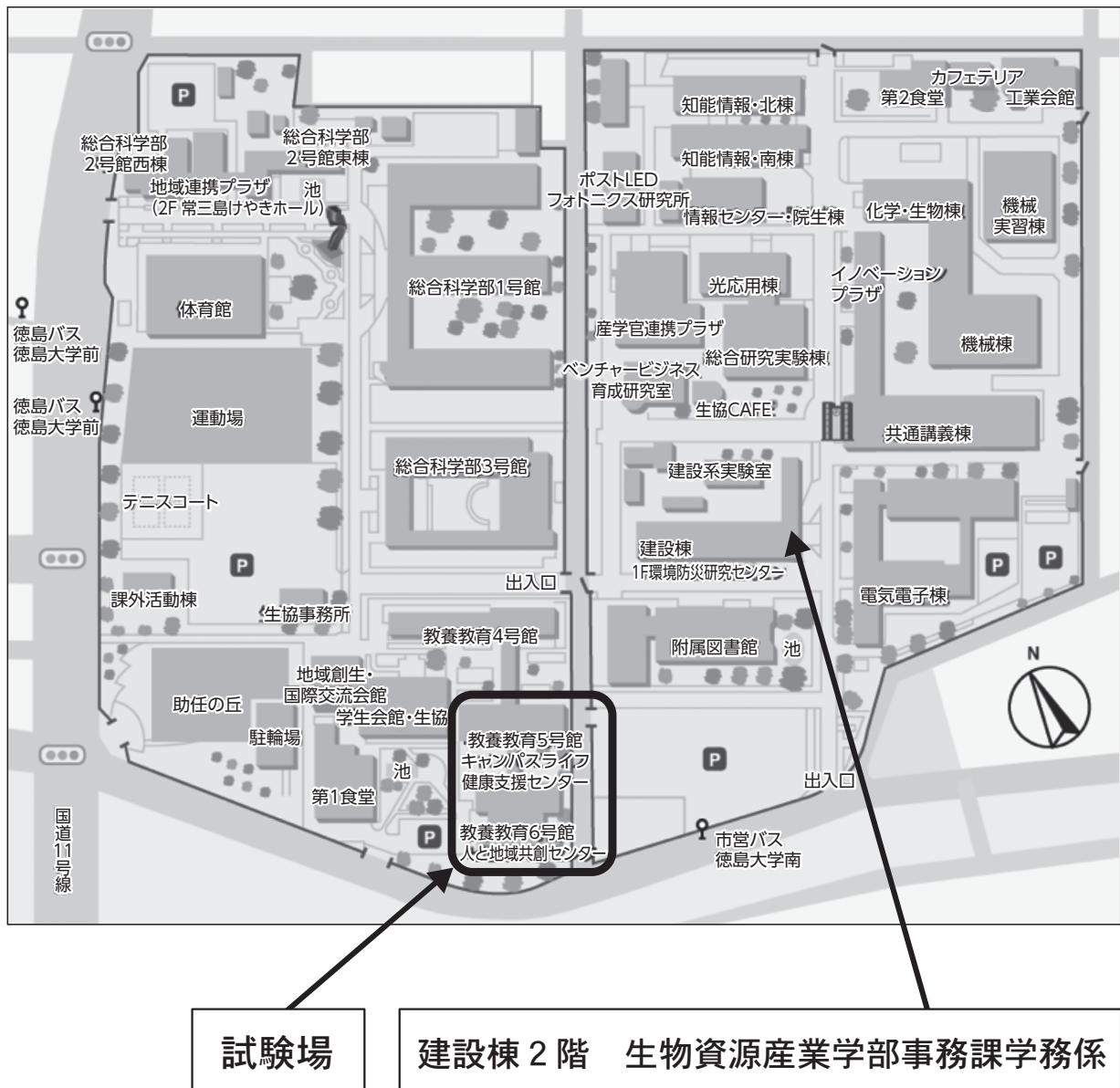
特に生物生産科学コース専門科目は、農作物や家畜の育種技術、植物工場などの生物生産システム、持続可能な生物資源の活用法等に関する専門知識について体系的に学び、さらに、ゲノム編集や細胞工学による動物や植物の品種改良および植物工場による生産管理に関する科目、6次産業関連科目群等が開講されています。

令和7年4月1日現在

役職	受入教員	指導内容
教 授	刑 部 敬 史	植物遺伝子工学および分子育種の研究
教 授	竹 本 龍 也	胚で多彩な細胞が時空間的に産み出される発生システム
教 授	谷 原 史 倫	動物の生殖工学と遺伝子改変に関する研究
教 授	中 澤 慶 久	バイオエコノミーに関する研究と社会実装
教 授	服 部 武 文	森林微生物代謝機構の解明と林産物高付加価値への応用
教 授	三 戸 太 郎	昆虫のゲノム機能と資源化に関する研究
教 授	森 松 文 毅	動物生産システムおよび畜産物利用に関する研究・開発
准教授	岡 直 宏	海藻の陸上養殖技術の開発に関する研究
准教授	佐 藤 征 弥	植物保護および造園設計に関する研究
准教授	橋 本 直 史	地域農業に関する社会経済的分析
准教授	平 田 真 樹	効率的かつ持続的な動物生産システムに関する研究
准教授	宮 脇 克 行	植物栽培を中核とした生物環境工学とその応用研究
准教授	山 城 考	被子植物の分類、生態、保全に関する研究
准教授	山 田 晃 嗣	植物-病原菌間相互作用の形成に関わる分子メカニズムの研究
准教授	山 村 正 臣	森林植物由来有用成分の生合成機構の解明とそれら成分の有効利用
特任准教授	長 原 恵	産業動物の繁殖に関する研究
講 師	石 丸 善 康	植物栽培を中核とした生物環境工学とその応用研究
講 師	松 田 春 菜	陸産貝類の分類や保全に関する研究
講 師	渡 邊 崇 人	有用昆虫の応用利用に関する研究

令和9年3月31日退職予定

【常三島キャンパス】



徳島大学大学院創成科学研究科生物資源学専攻(博士前期課程)入学願書

ふりがな						※受験番号（大学記入欄）	
氏 名	(姓)	(名)		男・女	○をつける 一 般 入 試 外国人留学生特別入試 社 会 人 特 別 入 試		
	(旧姓)						
生 年 月 日 (西暦)	年 月 日生 (歳)						
国 籍 (外国人留学生が 志願する場合)		在留 資格		在留 期間	年 月 日 年 月 日	○をつける 国 費 私 費	
出願資格	卒業大学名	(国立・公立・私立)					
		大学					
		学部 学科 課程					
	西暦	年 月 卒業見込み・卒 業・修 了					
職 歴	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
志望するコース・ 受 入 教 員 名 (一般入試受験者の のみ、希望があれば、 受入教員を第 3志望まで選択可)		志 望 コ ー ス			第1志望 受入教員		
					第2志望 受入教員		
					第3志望 受入教員		
連 絡 先	現 住 所	〒					写真貼付欄 最近撮影した本人 確認が可能な写真 (上半身、脱帽、正 面、縦4cm×横3cm) の裏に、氏名を記 入し、貼付するこ と。
	携 帯 等 電 話						

（切りはなして提出すること）

(注) ①志望するコース・受入教員名は、17 ページ以後を参照の上、必ず記入すること。
 ②職歴欄は職歴がある場合は必ず記載すること。
 ※欄は記入しないこと。

徳島大学大学院創成科学研究科生物資源学専攻(博士前期課程)受験票

氏名			受験番号	※	
志望コース・ 受入教員名 (一般入試受験者のみ、希望があれば、受入教員を第3志望まで選択可)	志望コース		第1志望受入教員		
			第2志望受入教員		
			第3志望受入教員		

○をつけること
一般入試
外国人留学生特別入試
社会人特別入試

※欄は記入しないこと。
志望コース、受入教員名は入学願書に記載したものと同じものを記入すること。
この受験票は、受験の際つねに携帯し、試験中は指定された位置に置くこと。

(切りはなさないで提出すること)



写真票

氏名			受験番号	※	
志望コース・ 受入教員名 (一般入試受験者のみ、希望があれば、受入教員を第3志望まで選択可)	志望コース		第1志望受入教員		
			第2志望受入教員		
			第3志望受入教員		

写真貼付欄
最近撮影した本人確認が可能な写真(上半身、脱帽、正面、縦4cm×横3cm)の裏に、氏名を記入し、貼付すること。

○をつけること
一般入試
外国人留学生特別入試
社会人特別入試

※欄は記入しないこと。
志望コース、受入教員名は入学願書に記載したものと同じものを記入すること。

(切りはなさないで提出すること)

(切りはなして提出すること)

机上票

受験番号	※
------	---

※欄は記入しないこと。

(切りはなして提出すること)

(注) ①※欄は記入しないこと。※2は希望があれば一般入試受験者のみ記載すること。
②志望コース、受入教員は、入学願書に記載したものと同一ものを記載すること。
③本様式内にまとめるものとし、直筆で記入すること。
④本様式での作成にあたり、事前に志望する受入教員と研究内容等について十分に相談して理解を得おくこと。
⑤各受入教員欄には、志望する受入教員から直筆による署名をもらうこと。

これまでの学修・研究の経過、今後の研究計画を詳細に記載すること。

履 歴 書 (学 歴)

氏 名		英 語				
		母 語				
学 歴	学校名及び所在地		修業必要 年 数	入学及び卒業年月		学位・資格
	初等教育 (小学校)	学校名	年	入学	年 月	
		所在地		卒業	年 月	
	中等教育 (中学校 及び高等 学校)	学校名	年	入学	年 月	
		所在地		卒業	年 月	
		学校名	年	入学	年 月	
		所在地		卒業	年 月	
	高等教育 (大学)	学校名	年	入学	年 月	
所在地		卒業		年 月		

(切りはなして提出すること)

(注) ① 出願資格(3)・(4)に該当する者のみ記入してください。
② 学校所在地は、市町村名まで記入してください。

中国高等教育学生情報網 照会番号	①	②
------------------	---	---

令和 年 月 日

出願資格審査申請書

2026 年度入学徳島大学大学院創成科学研究科生物資源学専攻入学者選抜試験に出願するため、
添付書類を添え、資格審査の申請を行います。

ふりがな
氏 名

生年月日 年 月 日生 (歳)

住 所 〒

電話番号

出願を希望する選抜区分（該当するものを○で囲んでください。）

一般入試 ・ 社会人特別入試 ・ 外国人留学生特別入試

認定を希望する出願資格（該当するものを○で囲んでください。）

出願資格(7) ・ 出願資格(8) ・ 出願資格(9)

（切りはなして提出すること）

出願資格審査調書

徳島大学大学院創成科学研究科生物資源学専攻

ふりがな 氏 名				志望コース			
				志望教員			
学 歴	学校名及び所在地			修業必要年数	入学及び卒業等年月		学位・資格・専攻科目
	初等教育 (小学校)	学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月		
	中等教育 (中学校)	学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月		
	中等教育 (高等学校)	学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月		
	高等教育 (大学等)	学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月		
	大学院	学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月		
	その他	修学身分 学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月		
職 歴	在職期間			勤務先名称		勤務内容	
	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
その他特記すべき事項 (著書、論文(卒業論文を含む。))があればその題名、出版社名、出版年月日、出版場所)							

(注) 学校所在地は、市町村名まで記入してください。
 本様式の記入欄が不足する場合は、別紙を添付してください。

中国高等教育学生情報網 照会番号	①	②
------------------	---	---

(切りはなして提出すること)

検定料の払い込みについて

- 1 この払込用紙は、本学学納金の払込用紙としてゆうちょ銀行の承認を受けたものです。
- 検定料を払い込む場合は、必ずこの払込用紙を使用して最寄りのゆうちょ銀行又は、郵便局の窓口から払い込んでください。
- (ATM は、使用しないでください。)
- 2 検定料を払い込む際には、払込用紙のすべての志願者欄に氏名等を記入の上、切り取り線から払込用紙を切り取り、ゆうちょ銀行又は、郵便局の窓口へ検定料に手数料を添えて提出してください。(払込用紙は3連式ですので、切り離さないでください。)
- 3 検定料を払い込んだ際には、日附印が押印された「検定料払込証明書（出願用）」を必ず受領してください。
- 4 「検定料払込証明書（出願用）」は、「検定料払込証明書」の指定の欄に貼付して提出してください。
- 5 この払込用紙の「振替払込請求書兼受領証」をもって国立大学法人徳島大学の領収証書に代えさせていただきますので、別に領収証書を送付することはありません。

切 り 取 り 線

00		口 座 記 号 番 号												金 額		千 百 十 万 千 百 十 円	
0 1 6 3 0 0		0		9 2 5 3 5		金 額		3 0 0 0 0		千 百 十 万 千 百 十 円		金 額		3 0 0 0 0		千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名		国立大学法人 徳島大学												特 殊		取 扱	
通 信 欄		2026(令和8)年度大学院創成科学研究科生物資源学専攻(博士前期課程) 入学試験検定料															
志 願 者		おところ(郵便番号)												日 附 印			
おなまえ		(電話番号)												様			
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号徳第 4381 号)														これより下部には何も記入しないでください。			

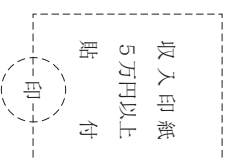
各票の※印刷は、志願者において記載してください。

口 座 記 号 番 号		0 1 6 3 0 0		9 2 5 3 5		金 額		3 0 0 0 0		千 百 十 万 千 百 十 円		金 額		3 0 0 0 0		千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名		国立大学法人 徳島大学												特 殊		取 扱	
通 信 欄		2026(令和8)年度大学院創成科学研究科生物資源学専攻(博士前期課程) 入学試験検定料															
志 願 者		おなまえ												日 附 印			
おなまえ		(消費税込み)												様			
料 金														備考			
記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。														この受領証は、大切に保管してください。			

口 座 記 号 番 号		0 1 6 3 0 0		9 2 5 3 5		金 額		3 0 0 0 0		千 百 十 万 千 百 十 円		金 額		3 0 0 0 0		千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名		国立大学法人 徳島大学												特 殊		取 扱	
通 信 欄		2026(令和8)年度大学院創成科学研究科生物資源学専攻(博士前期課程) 入学試験検定料															
志 願 者		おなまえ												日 附 印			
おなまえ		(消費税込み)												様			
料 金														備考			
記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。														(徳島貯金事務センター第32号)			

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。

生物資源学専攻博士前期課程
入 学 試 験 志 願 者 用

受験番号	※
氏 名	

検 定 料 払 込 証 明 書

「検定料払込証明書（出願用）」貼付場所

※印欄は記入しないこと。

（切りはなして提出すること）

あ て 名 票

- (注) 1 選考結果及び連絡事項を郵送するので、住所・氏名・郵便番号・電話番号を記入してください。
2 住所がマンション等の場合は、マンション・アパート名、部屋番号も記入してください。
3 電話番号は、郵送の際に連絡がつく番号を記載してください。
4 ※印は記入しないでください。

(住所)

(氏名)

殿

(電話番号)

※受験番号

(住所)

(氏名)

殿

(電話番号)

※受験番号

(住所)

(氏名)

殿

(電話番号)

※受験番号

(切りはなして提出すること)

速達

- ①410円の切手をはること
②住所氏名郵便番号を明記すること

〔受験票在中〕

殿

令和 年 月 日

徳島大学生物資源産業学部
事務課学務係

徳島市南常三島町2丁目1番地

電話 (088) 656-8021・8020

FAX (088) 656-8029

郵便番号 770-8513

速達

770-8513

郵便
切手

徳島市南常三島町二丁目一番地

徳島大学生物資源産業学部
事務課学務係 行

大学院願書在中

書留

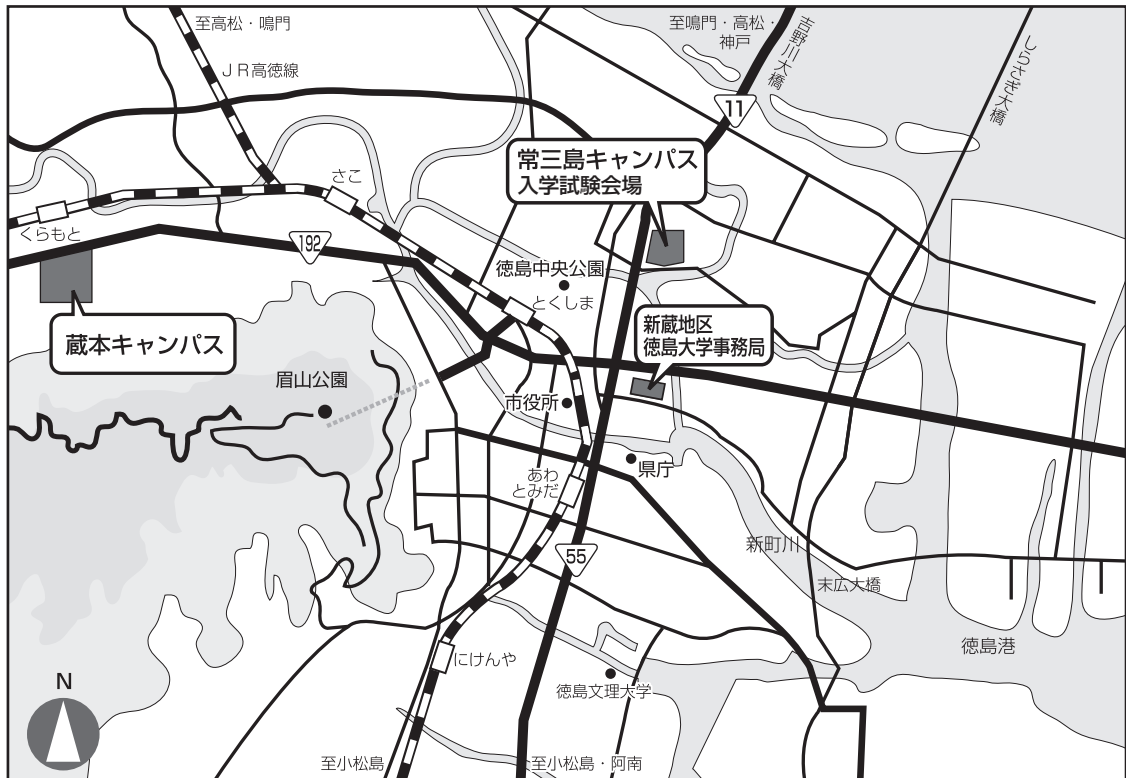
差出人	住所	〒
	氏名	

この封筒の中に次の書類等を下表の整理順に揃え、確認の上提出すること

整理順	区分	チェック欄	出願書類一覧	備考
1	全 員	☐	入学願書	
2	全 員	☐	受験票・写真票	
3	全 員	☐	志望理由書及び研究計画書	
4	全 員	☐	成績証明書	
5	本年度生物資源産業 学部卒業見込者以外	☐	卒業（見込み）証明書	
6	社会人特別入試	☐	推薦書	
7	一 般 入 試 外 国 人 留 学 生	☐	TOEIC「公式認定証」又は TOEFL 「受験者用控えスコアレポート」もし くは TOEFL「公式スコアレポート」	
8	社会人特別入試	☐	TOEIC「公式認定証」又は「デジ タル公式認定証」	
9	該 当 者 詳細は募集要項参照	☐	学位授与証明書等	※出願資格(3)～(4)に該当する 者で、学士の学位がない場 合は入学試験審査が必要
10	外 国 人 留 学 生	☐	履歴書	
11	外 国 人 留 学 生	☐	外国人登録原票記載事項証明書又は 旅券の写し	
12	全 員	☐	検定料払込証明書	
13	全 員	☐	あて名票	
14	全 員	☐	受験票送付用封筒 (410 円分の切手貼付)	

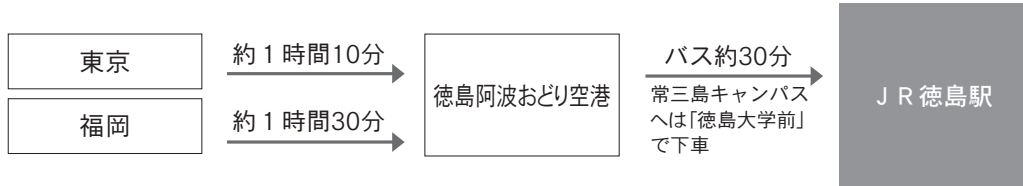
上記の書類が揃っているか確認し、チェック欄に☑を入れてから封筒に入れてください。

位置図



交通アクセス

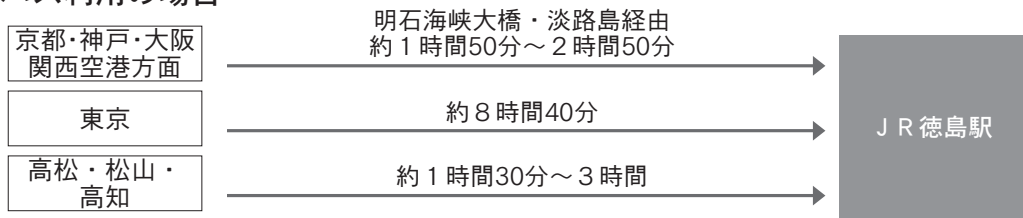
■航空機利用の場合



■鉄道利用の場合



■バス利用の場合



■フェリーボート利用の場合

